

# 平成30年度 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第24回 デザイン分科会 議事録

期日：平成30年11月15日（木）13：00～17：15（受付12：30～）  
場所：埼玉県立近代美術館 2階講堂（埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1）  
主催：産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会  
国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
埼玉県産業技術総合センター

## 1. 挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・13：00～13：20

- ・ デザイン分科会 会長 佐賀県工業技術センター 副所長 川口 比呂志
- ・ 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 副部会長 宮田 なつき
- ・ 埼玉県産業技術総合センター センター長 中村 雅範



川口氏（佐賀県）



宮田氏（産総研）



中村氏（埼玉県）

## 2. 経済産業省のデザイン政策について・・・・・・・・・・13：20～13：40

- ・ 「デザイン経営」宣言とその後の展開  
経済産業省 クールジャパン政策課 デザイン政策室  
課長補佐 菊地 拓哉 様

『「デザイン経営」宣言』については、経済産業省と特許庁が設置した研究会「産業競争力とデザインを考える研究会」により、平成30年5月に発表された。「デザイン経営」とは、①企業の経営層にデザイン責任者がいること、②ビジネスの最上流からデザインが関与することの2点が必要条件とされている。

「デザイン経営」を推進することでブランド力、イノベーション力が向上し、企業の競争力向上が期待できる。海外では多くの企業が経営チームにデザイン責任者を配置しているが、日本の企業ではまだまだ数は多くない。企業のデザインに対する意識を高めるきっかけを政策提言としてまとめ、意欲ある企業を後押ししていきたい。



菊地氏（経済産業省）

### 3. デザイン支援事例発表・・・・・・・・・・13：40～15：20

- ・ デザインセンターを起点とする富山、高岡産地の活性化プロセス  
富山県総合デザインセンター 副主幹研究員 窪 英明 氏

県として富山デザインに力を入れている最中で、昨年度はクリエイティブ・デザイン・ハブを整備し、プログラマー、心理学者など異業種連携による新たなプロジェクトの創出を目指し、未来研究活動を始めている。併せて、県庁内のデザイン関連の人材を1名から5名に増強した。

富山県総合デザインセンターでは、平成6年から商品化を前提とした富山デザインコンペティションをスタートさせ、多くのヒット商品を生み出してきた。

同センターでは県内産お土産品のプロデュースも行い、企業ごとに生産しているお土産を一つのブランドに再編成している。1年目は2,700万円の売上げにとどまったが、今年は2億円を超える見込みであり、官民プロジェクトとして広がりを見せている。

- ・ 創造的受身が共感を呼ぶ山梨ハタオリ産地の物語

山梨県産業技術センター富士技術支援センター繊維技術部技術支援課  
主任研究員 五十嵐 哲也 氏

織物産地である山梨県の郡内地域では、10年前から産地見学イベントが始められたことにより大きく変わってきた。近年では織物産業に従事している人だけでなく、地域に住む人たちがイベントに協力し、産地全体が盛り上がりを見せている。

産地見学イベントが始まる前は、長年の下請業務に産地全体が慣れてしまい、産地名が外部に出ないことなどからブランド機能が低下し、消費者だけでなく業界からも忘れ去られていた。

しかし、デザイナーと学生たちが産地の活性化に大きな役割を果たし、産業として自分たちの存在意義を再確認することができた。富士技術支援センターは企業に近い支援機関として企業との関係性が深まり、製品の品質向上を支援することで、地域全体を活性化させることができた。

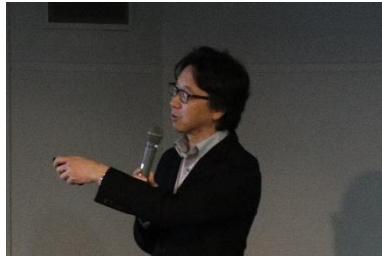


富山総合デザインセンター 窪氏（左）  
山梨県産業技術センター 五十嵐氏（中央）  
埼玉県産業技術総合センター 影山氏（右）

4. 研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15:35~16:50

■ 登壇発表

- ・ こどもOSランゲージを活用した子どものハザード回避について  
大阪府産業デザインセンター 主任研究員 川本 誓文 氏



- ・ 医工連携で期待される公設試デザインの役割  
広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー  
主任研究員 橋本 晃司 氏

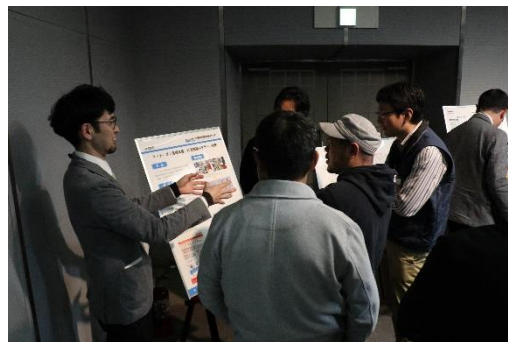
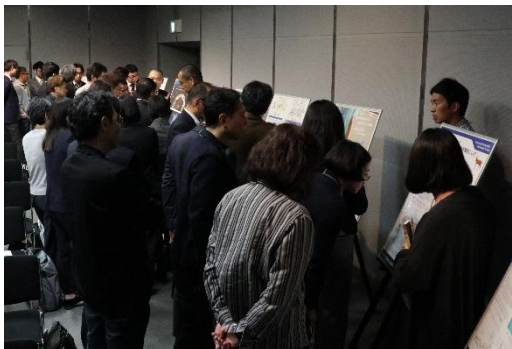


- ・ と、つくる  
(公財)広島市産業振興センター 工業技術センター デザイン支援室  
技師 大川 泰明 氏



■ ライトニング・プレゼンテーション

- ・ 構想設計革新イニシアティブシンポジウム ワールドカフェ×グラフィック  
ファシリテーションの試み  
(国研)産業技術総合研究所 製造技術研究部門  
総括研究主幹 手塚 明 氏
- ・ 安全な脱衣可能な防護服の開発  
(地独)東京都立産業技術研究センター デザイン技術グループ  
主任研究員 加藤 貴司 氏
- ・ 製品のデザインコンセプトに関する研究について  
(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 情報・生産技術部  
デザイン・設計グループ 村石 伊知郎 氏
- ・ 繊維技術を活用した加飾加工に関する調査研究  
新潟県工業技術総合研究所 素材応用技術支援センター  
専門研究員 橋詰 史則 氏
- ・ 本県ニホンジカ由来の皮・角を素材とした高付加価値製品の開発 及び  
先染め織物のシャンブレイ効果に関する研究  
山梨県産業技術センター 甲府技術支援センター デザイン技術部  
研究員 秋本 梨恵 氏
- ・ 時計モニュメントのデザイン  
(地独)京都市産業技術研究所 デザインチーム  
次席研究員 木戸 雅史 氏
- ・ ナノカーボン薄膜電極・計測機器のデザイン開発  
埼玉県産業技術総合センター 事業化支援室 大沼 勇樹 氏



5. 次期開催県の紹介と挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・16：50～17：15

- ・ 三重県工業研究所 窯業研究室 主管研究員兼課長 榎谷 幹雄 氏  
春の分科会は6月開催予定、場所は四日市市か津市を考えている。

三重県は土鍋に使われる万古焼が有名である。企業では「おやつカンパニー」があり、見学できないか検討中である。

- ・ 東京都立産業技術研究センター デザイン技術グループ  
グループ長 木村 千明 氏

秋の分科会は11月開催予定。オリンピック関係で見学してみたい場所があれば教えていただきたい。インテリア関係の見学も検討している。

以上